「新防災教育副読本を活用した指導事例」

学校名［荒町小学校］　　**氏名**［　小　松　宏　隆　］

［小］**学校**　　［１・２・３］**年版**　　**単元名**　［　家族防災会議を開こう　］
Ｐ　34～35

教科・領域名［ 学級活動　］　［**時間**４５**分**］

主な学習活動	指導の実際
［ねらい］ 突然に起こる災害。災害が起こったときにすばやく行動できるように話し合う。 １　地震が起きた時，みんなが困ることは何か，家族や自分がどこに避難したらいいのか，家の中で危ないところや直した方がいいところを発表する。 （学習活動）（主発問） もしもの時，みんなが困ることはどんなことか，家族や自分がどこにひなんしたらいいかを発表しましょう。また，家の中の危ないところやなおした方がいいところを発表しましょうする。その理由も発表しましょう。 （実際の児童生徒の反応） ・公園にいたときは，揺れが収まるまで動かないでいます。 ・学校にいたときは，学校で待ちます。 ・テレビの近くが危ないです。 ・食器が落ちてくるので，落ちないようにしておきます。 ２　災害から逃げるためにどのような物を準備したらよいか考える。 （主発問） 提示した物の中で必要な物・必要でない物はどれですか。選んだ理由も書きましょう。 （実際の児童の反応） ・ラジオは，いろいろな情報が入るので必要です。 ・懐中電灯は，暗いところを照らすのに必要です。 ・ぬいぐるみは，必要ではないです。 ・サランラップは，必要でないと思います。 ・サランラップは，必要だと思います。 ３　まとめ 今日，学習したことで思ったことや考えたことをプリントに書きましょう。	［準備物］ 掲示物・児童が家で調べてきた学習カード ［児童の感想］ ・地震がきてからではなく，来る前に，考えることが大切なんだと思いました。 ・地震は，いつ起こるか分からないので，家で危ないところは直しておきたいと思います。 ・災害が起きても，準備をしておけば大丈夫だと思いました。 ・サランラップも使えることが，初めて分かりました。